

## 『工場見学』（1月29日配信）

先日、赤城乳業に、あのガリガリ君を作っている有名な工場が本庄市にあるのをご存じですか。家族5人で工場見学に行きました。しかし、高速道路が渋滞しており、予約の時間に遅れてしまうことを電話リレサービスを利用し先方に伝えると、お待ちしておりますとの回答でした。

やっとのことで工場に着くと驚くことができました。車で敷地に入ると、警備員が来ました。場所を聞こうと、名前を名乗ろうとしたところ、警備員から手話で川畑さんですかと聞かれました。今までは、どこに行っても警備員は声で話しかけてきて、わからないため筆談ボードもあったのですが、ここは警備員が手話対応してくれました。初めての経験です。旦那も同様に驚いていました。お待ちしていました。車はあちらに止めてくださいと言われ車を止めると、30分ほど遅れていたの慌てて子どもたちと行こうとしたとき、警備員から手話サークルに行っ手話を勉強しています。お話しできてうれしかったですと言われました。ありがとうございますと手話であいさつがありました。これにまた驚きました。そこで、ガイドが説明する内容を文字起こしたものをろう者用に用意してあるようで、受け取りました。遅刻したため、本来のグループは先に行っていました。

私たちには別の方が帯同してくれ、子どもは聴者なので子どもに説明しお話をしながら、適宜ここを説明していますと、指差して冊子の説明部分を指して教えてくれました。非常に快適に見学をさせていただくことができました。見学が終わったところに、先ほどのスタッフの女性と他に女性が2人来ました。すると、はじめましてと手話で話し始めました。2人はろう者だそうでこの工場に勤務しているとのこと。だから、ほかの方にも手話が広まっていると感じました。こんなに快適に見学できた場所は、初めてですなんて言いながら少しお話をさせてもらいました。

ろう者が見学に行く場所として非常におすすめです。